



特集

歯周病が全身疾患に与える影響 × 糖尿病、肥満症、関節リウマチ



Part1 9:55
Part2 15:31
Part3 11:51



POINT 1

医科歯科連携による
糖尿病・歯周病治療への効果とは

POINT 2

歯周病起因菌が
腸内細菌叢に及ぼす影響

POINT 3

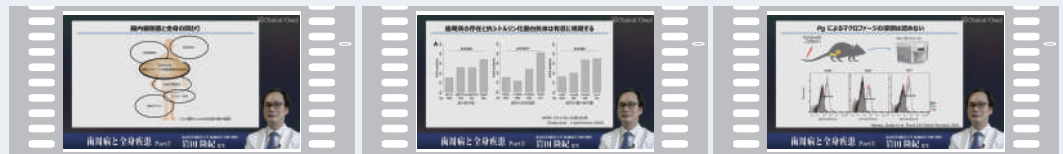
歯周病治療がリウマチ病態を
改善する

歯周病と全身疾患

歯周病は、歯を支える歯槽骨を溶かすことで症状を有する、成人の抜歯の原因第1位の疾患になります。現在、全身疾患との関連性が注目を集めています。とりわけ糖尿病に関しては、歯周病が第6の合併症と位置付けられており、密接な相互関係にあることがクローズアップされています。特定の歯周病原因菌から産生される内毒素が、歯肉から血管内に入り込むことで、全身性の炎症を惹起し脂肪肝や糖代謝の増悪、さらにはリウマチ性疾患への影響にまで寄与することが分かってきました。そこで、歯周病が全身に及ぼす影響に関する研究において第一人者である、岩田先生に医科医師向けに、歯周病における医科歯科連携のポイントを伺いました。



東京医科歯科大学病院 歯周病学分野
主任教授
岩田 隆紀 先生
●専門分野
保存治療系歯学、口腔再生医学
歯科医用工学



てんかん

高齢化により増加する 高齢者てんかんの診療のポイント



- POINT 1 高齢者てんかんの主な発作型について
- POINT 2 発作型の特徴的症候について
- POINT 3 てんかん診療ガイドライン2018年における選択薬について

高齢者てんかんは全身けいれんの無い「複雑部分発作」と、全身けいれんを伴う部分発作である「二次性全般化発作」の割合が高く、9割以上が部分発作です。高齢者の特性を考慮したうえで、部分発作に有効で相互作用や酵素誘導作用の少ない抗てんかん薬を選択することがポイントです。



高血圧症

実地診療におけるMR関連高血圧 ～ 糖尿病を合併した高血圧患者さん～



医師会員
限定動画

POINT 1
MR関連高血圧を分かりやすく解説

POINT 2
アルブミン尿を有する2型糖尿病を合併した高血圧患者へのエサキセレノンの有用性

POINT 3
エサキセレノンの適正使用

実地診療の現場では、降圧治療を行っているにもかかわらず、血圧コントロール不良の高血圧患者がしばしばみられる。その理由の一つに、近年注目されている『MR関連高血圧』という病態概念があり、ミネラルコルチコイド受容体(MR)の病的な活性化により引き起こされる高血圧を指す。糖尿病患者で血圧コントロールが不良な場合には、MR関連高血圧の可能性を考慮し、MRBによる治療を行うことも1つの選択肢と考えられる。

そこで、選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカーエサキセレノンのアルブミン尿を有する2型糖尿病を合併した高血圧症患者を対象とした臨床成績を紹介する。また、エサキセレノン投与時の注意点として、高カリウム血症があり、こちらの適正使用についても解説する。

公立陶生病院 院長

味噌 正純 先生



- ご紹介 : 1980年名古屋大学医学部卒
- 所属学会 : 日本内科学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心不全学会、日本高血圧学会、日本心血管インターベンション治療学会 他

提供: 第一三共株式会社

注目動画 2

腎性貧血

腎性貧血に モリデュスタットナトリウム という選択肢

4:39



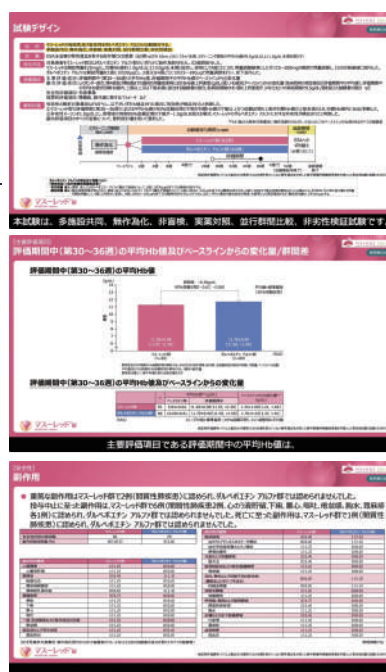
POINT 1 1日1回食後経口投与の腎性貧血治療薬

POINT 2 内因性EPOの産生を誘導し、赤血球産生を促進

POINT 3 国内第III相臨床試験でESAに対する非劣性を検証

1日1回食後経口投与、従来とは異なる作用機序で内因性のEPO産生を誘導することにより赤血球の産生を促進するHIF-PH阻害薬モリデュスタットナトリウムは5つの国内第III相臨床試験を実施し、臨床的有用性を確認いたしております。今回はその中でもESA未治療の腎性貧血を有する保存期CKDを対象とした国内第III相臨床試験(MIYABI ND-C)について紹介いたします。

提供: バイエル薬品株式会社 PP-MOL-JP-0423-12-05



注目動画 3

睡眠障害

小児期の神経発達症に伴う 入眠困難改善剤

6:44



POINT 1 小児期の睡眠障害治療の実態

POINT 2 メラトベルの国内第III相臨床試験

POINT 3 メラトベルの特性

これまで国内では、小児期の神経発達症に伴う睡眠障害を適応とする治療薬がありませんでしたが、2020年6月に内因性ホルモンと同一の化学構造式を持つメラトニンを有効成分とするメラトベルが「小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善」の効能又は効果で新発売されました。2021年6月1日より投薬期間制限が解除になりましたので、より使い易くなりました。



淑徳大学 看護栄養学部看護学科 教授

林 雅晴 先生

- 専門分野: 小児神経学、神経病理学、小児科学
- 1982年東京医科歯科大学医学部卒業
- 1991年米国Harvard Medical School 病理学教室 Research fellow
- 2016年から現職

提供: ノーベルファーマ株式会社



注目動画 4